

「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討状況について

1 要旨・目的

全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・派遣する機能を持つ「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討を進めており、昨年11月に策定した「高度医療・人材育成拠点基本構想」（以下「基本構想」という。）に基づき、新病院の具体的な医療機能や施設整備等に関する検討を進めるため、再編対象病院等と連携して開催した「高度医療・人材育成拠点基本計画策定会議」について報告する。

また、基本構想に掲げる医療機関再編による影響が予想される地域における地域懇話会の設置について、併せて報告する。

2 現状・背景

本県においては、医師や診療科の偏在、高度医療機器の分散、都市部における医療機能の重複などに課題がある。とりわけ、高度な医療資源が集中する広島都市圏において、医療資源を集約化することにより、県内全域を対象に高い水準の医療を提供するとともに、中山間地域の地域医療を維持する必要がある。

3 概要

(1) 対象者

県民、医療関係者等

(2) 実施内容

昨年11月に新病院に必要な主な医療機能や広島都市圏の医療機関の再編等について、関係病院で構成する広島都市圏病院長会議及び拠点ビジョン推進会議において、基本構想として合意が得られた。

この基本構想に基づき、新病院の具体的な医療機能や施設整備等に関する検討を進めるため、新病院を一体となって構築する関係病院において、基本計画策定会議を開催し、「高度医療・人材育成拠点」に想定される病床数等について検討を行った。

ア 第1回基本計画策定会議（1/27開催）における議題及び内容

項目	内容
基本計画策定会議の検討事項及び検討体制	○開催趣旨，スケジュール，検討体制等について説明 ○基本計画策定会議における主な検討事項 （1）新病院の運営方針・経営目標・人事交流等の方針 （2）新病院の部門別計画，施設設備計画 （3）医療人材の確保，医師の循環方策など重点分野のあり方・方向性 ○医療人材の確保，医師の循環方策など重点分野は個別に検討部会を設置 ※計画策定に当たっては，再編対象病院各診療科長等の意見を集約し，大学病院，県・市医師会など関係団体等と個別調整

新病院の基本理念等	<p>○基本構想における新病院の基本理念及び基本方針を説明し、再編対象病院が掲げる基本理念などを踏まえ、意見聴取</p> <p>【基本理念（案）】</p> <p>全ての県民が、質の高い医療を安心して受けることができる、地域医療連携の中核となる病院を目指すとともに、人材を惹きつけ、医師や看護師等の医療スタッフにとっても働きやすく、働きがいのある病院を目指す。</p>
新病院の病床数	<p>○新病院における必要病床数の考え方を説明、意見聴取</p> <p>【需要】</p> <p>新病院のターゲットとなる高度急性期及び重症急性期の2035年時点の患者数（精神を除く）を将来の人口推計及び受療率から算出し、必要病床数を試算（2,969床）</p> <p>【供給】</p> <p>病床機能報告から、県立広島病院を除く、広島医療圏における高度急性期の病床数を算出（2,045床）</p> <p>【必要病床数】</p> <p>上記の需要と供給を勘案した病床に精神病床50床を加え1,000床程度</p>

イ 基本計画の構成案（下線部：第1回基本計画策定会議において議論）

目次	内容
第1章	<u>基本的な考え方</u> (<u>基本理念・基本方針等</u>)
第2章	<u>新病院の規模・機能</u> (<u>病床数, 診療科目等</u>)
第3章	部門別整備計画 (部門別整備方針, 運営計画等)
第4章	施設整備計画 (敷地内配置計画, 階別構成等)
第5章	医療機器整備計画 (主要機器, 整備方針等)
第6章	情報システム整備計画 (整備方針, システム導入範囲等)
第7章	地域医療体制確保計画 (医師循環に係る方針, 仕組み等)
第8章	運営形態 (有識者会議の提言を踏まえた新病院の運営形態)
第9章	整備手法 (分離発注方式, E C I方式等)
第10章	事業計画 (収支シミュレーション, スケジュール等)

※高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議にも適宜検討内容を報告し、意見聴取する。

ウ 会議構成員（団体）

医療法人J R広島病院, 中電病院, 県立広島病院, 広島県

※委員名簿は別紙を参照。

エ 会議における主な意見

項目	内容
新病院の基本理念及び主な機能について	<ul style="list-style-type: none"> ○基本理念については、職員が復唱できる程度にコンパクトにしつつ、信頼や安全という言葉を含め盛り込んだ方がよいのではないか。 ○単に3病院を一つにするのではなく、新病院は全ての県民のために、大学と連携して中山間地域を含めた将来の地域医療を守る使命があることを、関係者はしっかりと理解する必要がある。 ○新病院の主な機能として、政策医療や人材育成機能だけでなく、先進医療と臨床研究についても盛り込む必要がある。 ○がんや小児・周産期医療において扱われているゲノム医療について、新病院の主な機能として追加を検討してはどうか。
新病院の病床数について	<ul style="list-style-type: none"> ○将来的な需要を踏まえた病床数だが、開院までの間での需要の変化に対応できる柔軟性を持たしつつ議論していくべきである。 ○急性期の病床が想定されているが、慢性期患者への対応や再編対象病院が持っている急性期以外の病床をどうしていくか考える必要がある。

オ 医療機関再編による影響が予想される地域における地域懇話会の設置

項目	内容
地域懇話会の設置目的と主な検討事項、構成員	<ul style="list-style-type: none"> ○再編対象病院である県立広島病院，中電病院が所在する南区，中区を対象に，次の検討事項について，地域住民や有識者などから幅広く意見を聴取することを目的に設置 <p>〔主な検討事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療機関再編による影響が予想される地域の医療体制 (2) 県立広島病院の土地活用方針 <p>〔構成員（調整中）〕</p> <p>地域住民代表（主に社会福祉協議会会長を想定），公衆衛生及びまちづくりに関する有識者，地区医師会，県立広島病院，中電病院，広島県</p> <p>※必要に応じて，関係機関の参加を求める。</p>

カ 県民に対する公開セミナーの開催

県主催の最新医療に関する県民公開セミナーにおいて，高度医療・人材育成拠点基本構想についても説明し，参加者からの質疑に対応する（3月19日開催予定）。

(3) スケジュール

新病院の基本計画については，令和5年9月を目途にとりまとめる。また，医療機関再編による影響が予想される地域の医療体制及び県立広島病院の土地活用方針については，地域懇話会における住民や有識者等の意見を踏まえつつ，令和5年8月を目途にとりまとめる。

なお，第1回地域懇話会は，3月に開催する予定である。

(4) 令和4年度現計予算額

159,644千円（一部国庫）

高度医療・人材育成拠点 基本計画策定会議 委員名簿

氏名	所属
板本 敏行	県立広島病院 病院長
品川 恵己	県立広島病院 看護部長
栗根 庸行	県立広島病院 事務局長
河本 昌志	医療法人 JR 広島病院 院長
堀江 玲子	医療法人 JR 広島病院 看護部長
植木 直富	医療法人 JR 広島病院 事務部長
河村 寛	中電病院 病院長
相原 忍	中電病院 看護科部長
高原 健一	中電病院 事務局長
浅原 利正	広島県 参与
平川 勝洋	広島県 病院事業管理者
◎ 木下 栄作	広島県健康福祉局 局長
福永 裕文	広島県健康福祉局 総括官（医療機能強化）
米田 一裕	広島県健康福祉局 総括官（医療介護）

(◎：委員長，順不同・敬称略)